



こんにちは 森林官です！

留萌北部森林管理署 天塩森林事務所
首席森林官 大平 智（写真左から2番目）



【管内の概要】

天塩森林事務所は、北海道の留萌振興局管内の北部に位置する天塩町の市街地にあり、約 10,666 ヘクタールの国有林を管理しています。管轄面積のうち、約 563 ヘクタールが防風保安林に指定されていて、海岸特有の強風地でもあります。



【天塩町の特徴】

天塩町は、酪農が盛んで、ピーク時には町内で飼育される乳牛は約 1 万数千頭を数え、年間約 5 万トンの生乳を生産していました。このため豊富な牛乳を活かした特産品が沢山あります。

また、北海道第 2 位の長さで北海道遺産にも選定されている大河「天塩川」の河口は、シジミにとって最適な生育環境となっており、大ぶりのヤマトシジミの産地としても有名です。

【天塩森林事務所について】

管轄内の天塩川下流の防風保安林内には、「川口遺跡風景林」があり、約 3,000 年前の縄文時代に先住民が竪穴住居を建て集落を形成した遺跡があることから、当該地の国有林を天塩町に貸付しています。遺跡の保存や天塩町の観光資源の一つとして復元整備され、一般公開されております。



森林施業については、平成 13 年に間伐推進路網整備モデル林が設定され、間伐の推進や流域全体の作業路網の充実を目的とした森林作業道等の配置・規格の工夫、高性能林業機械の活用などによる効率的な事業実施に取組、低コスト化の推進を図っています。

今後も、機能類型に応じたきめ細かな森林施業を心掛け、山づくりを行っていくことが必要と感じています。



【最後に】

昨年 4 月に遠別森林事務所と併せ、天塩森林事務所も担当することになりました。現場業務の重要性を認識しながら、今後も業務を遂行していきたいと思っております。